

タンクローリ解体マニュアル

(タンクローリ編)

お願い

1. 本解体マニュアルは一般的な解体例を示し、掲載された図等は実物と異なる場合がありますのでご注意ください。
2. 木材、断熱材、FRPの解体処理については、「適正処理・再資源化協力事業者一覧表」(日本自動車車体工業会ホームページ)を参照し、適正に処理して下さい。
3. 油圧機器、コンプレッサ、発電機、配電盤等につきましたは、夫々専門の業者に処理を依頼して下さい。

平成23年10月1日

日本車輛製造株式会社 輸機・インフラ本部

本解体マニュアルに対する問い合わせは下記にお願い致します。

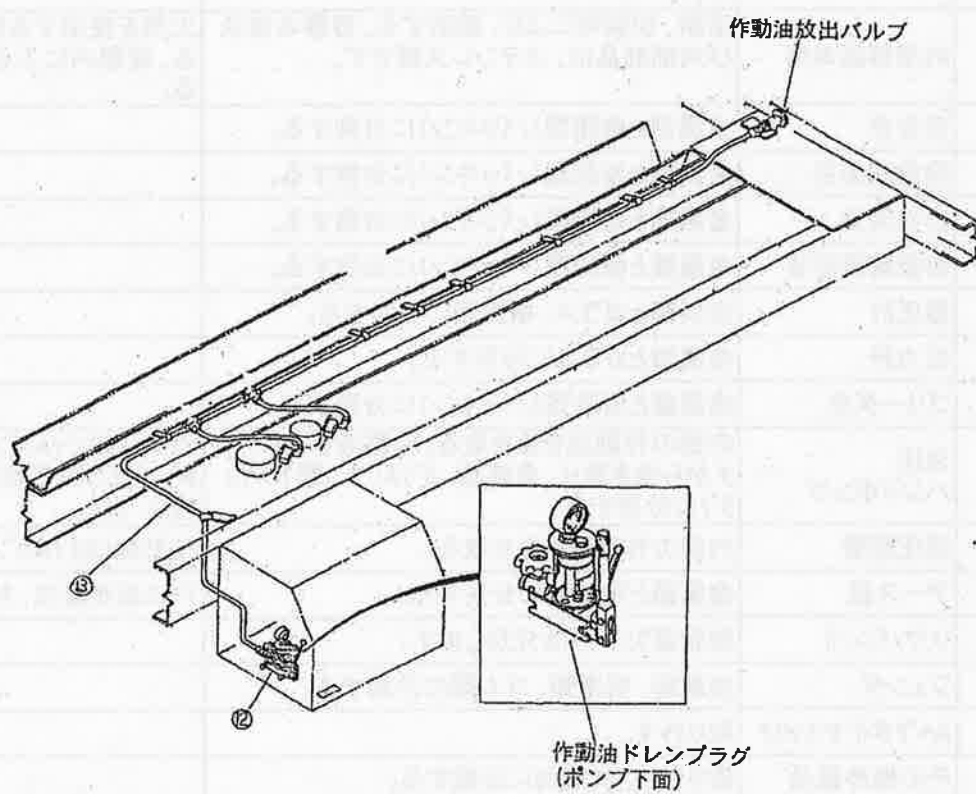
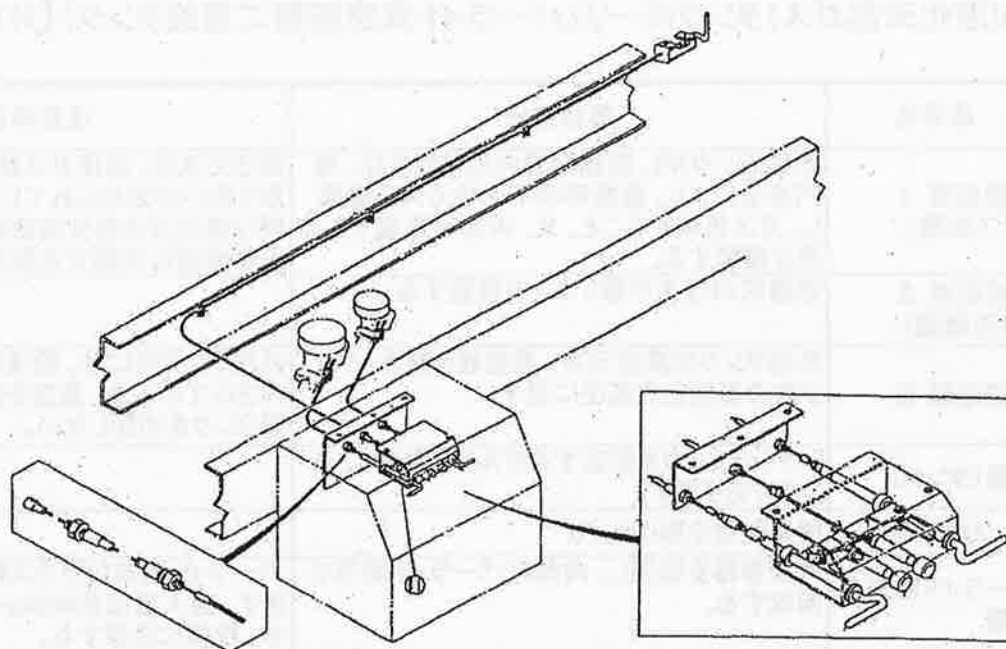
日本車両製造株式会社 輸機・インフラ本部技術部

TEL:0533-85-4116

FAX:0533-84-9289

1. LPG(液化石油ガス)タンクローリ【NT-LPG】

品目 番号	品目名	解体方法	注意事項
	事前処理Ⅰ (ガス処理)	容器(タンク)内、附属配管内の残ガスは、専門業者により、窒素等の不活性ガスに置換、又は水による置換を実施し、ガス処理すること。	高圧ガスは、高圧ガス保安法によりその取り扱いが定められています。高圧ガスの処理は、高圧ガス保安協会認定の容器再検査事業者に依頼する事が望ましい。
	事前処理Ⅱ (除圧確認)	容器内の圧力が無いことを確認する。	
	容器の開放	主要な附属品(安全弁、バルブ、配管、マンホール)を取り外す。	
	容器(タンク)	シャシと容器を固定するボルトを取外し、容器を切り離す。	
	容器本体	溶断、切断等により、裁断する。容器本体及び内部部品は、鉄及びステンレス鋼です。	火気を使用する場合は、引火に注意する。容器内に入る場合は酸欠に注意する。
1	マンホール	金属類とアスベストシート(ガスケット)に分別する。	
2	安全弁	金属類と樹脂類(パッキン)に分別する。	
3	液面計	金属類、樹脂類、アスベスト(パッキン)に分別する。	
4	緊急遮断弁	金属類と樹脂類(パッキン)に分別する。	
5	容器元弁	金属類と樹脂類(パッキン)に分別する。	
6	容器附属配管	金属類と樹脂類(パッキン)に分別する。	
7	温度計	金属類とガラスに分別する。	
8	圧力計	金属類とガラスに分別する。	
9	ブリーダ弁	金属類と樹脂類(パッキン)に分別する。	
10	アース線	金属類と電線類に分別する。	アース線の重量、約1kg。
11	バルブ開閉用ワイヤ	金属類と樹脂類(アウターチューブ)に分別する。	
12	油圧 ハンドポンプ	内部の作動油をドレンプラグから抜き取り、金属類、ガラス、ゴム類(リング)に分別する。	作動油はオイルパン等で受ける。作動油は廃油として処理出来ます。 ポンプ及び配管内の油量は、約0.5L。
13	油圧配管	内部の作動油を作動油放出バルブから抜き取る。	作動油はオイルパン等で受ける。作動油は廃油として処理出来ます。
14	リヤバンパ	樹脂製ランプ等は分別します。	
15	フェンダ	金属類、樹脂類、ゴム類に分別する。	
16	スペアタイヤキャリア	取り外す。	
17	その他外装品	取り外し、材質別に分類する。	
18	灯具類	金属類、樹脂類、ゴム類、電線類に分別する。	

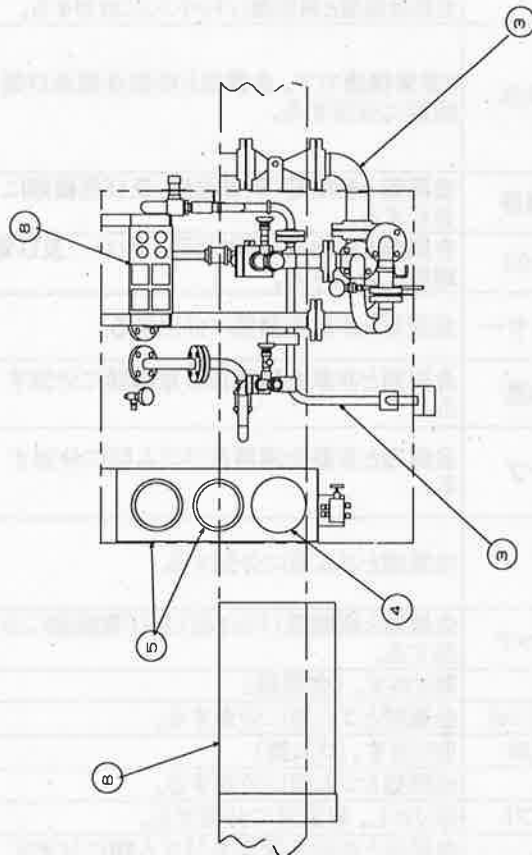
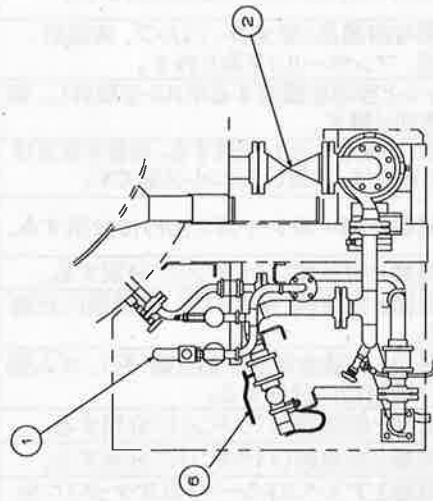
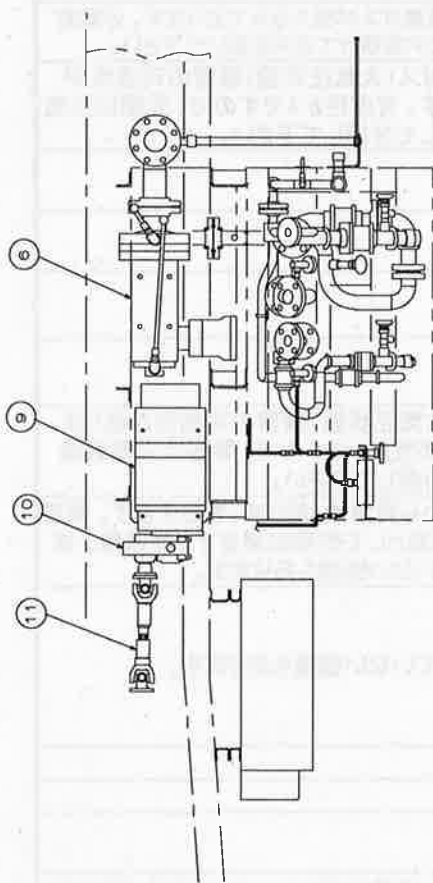


3. LCO₂(液化炭酸ガス)タンクローリ(ウレタン断熱タンク)【NT-LCO2】

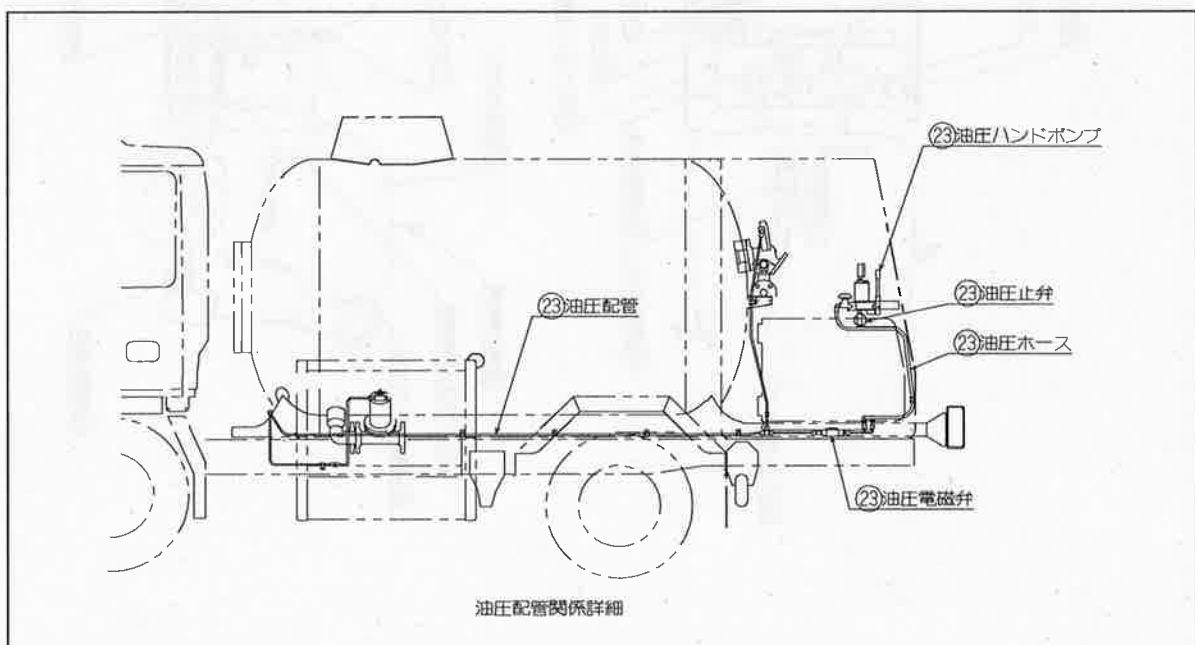
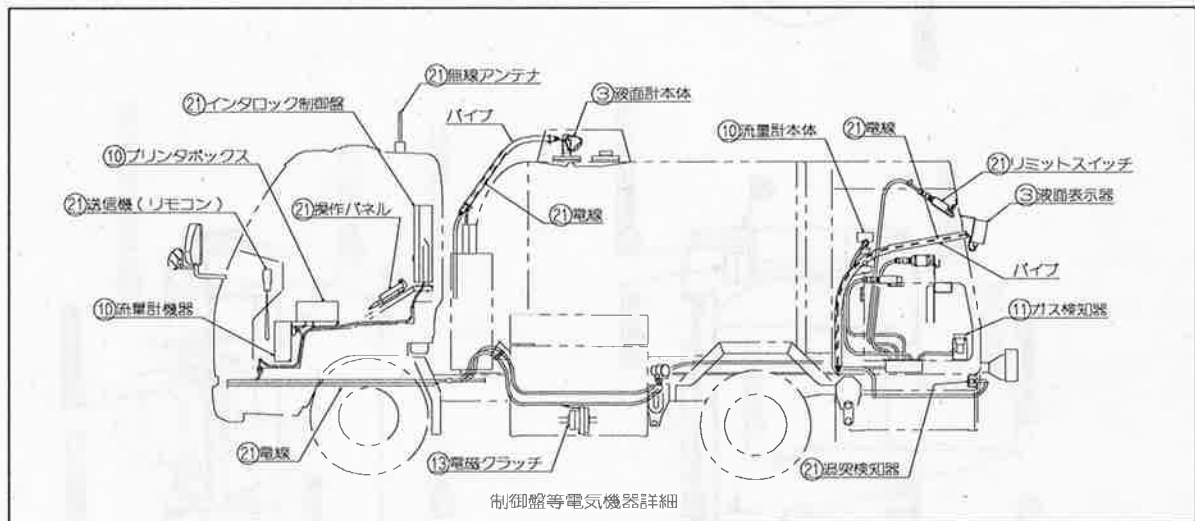
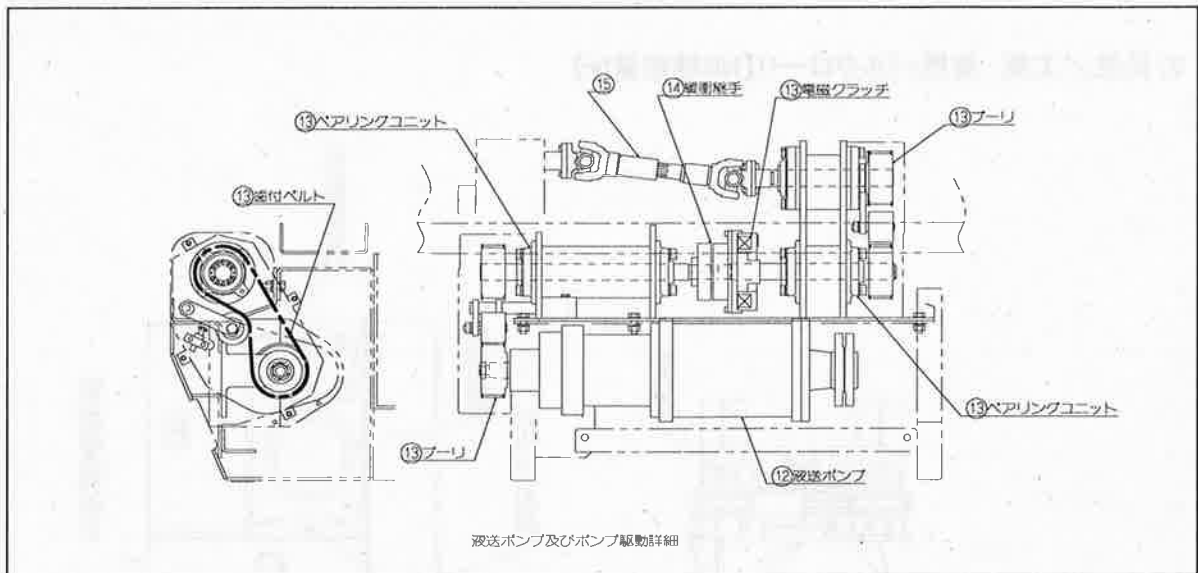
品目 番号	品目名	解体方法	注意事項
	事前処理Ⅰ (ガス処理)	容器(タンク)内、附属配管内の残ガスは、専門業者により、窒素等の不活性ガスに置換し、ガス処理すること。又、内部が常温である事を確認する。	高圧ガスは、高圧ガス保安法によりその取り扱いが定められています。LCO ₂ の処理は高圧ガス保安協会認定の容器再検査事業者に依頼する事が望ましい。
	事前処理Ⅱ (除圧確認)	容器内の圧力が無いことを確認する。	
	容器(タンク)	シャシとタンクを固定するボルトを外し、タンクを切り離す。	
	タンク附属品	附属配管を取り外す。	
	ケーシング	溶断、切断等により、裁断する。ケーシングは、アルミニウム合金です。	
	断熱材	内タンク表面から発泡ウレタン断熱材を剥ぎ取ります。	発泡ウレタンは引火性物質です。火気に注意して処置下さい。処理は一般廃棄物として燃焼(ただし、特殊焼却炉)させるか若しくは埋め立てが可能です。【注意】 使用量は約200kg。
	内層容器本体	溶断、切削等により、裁断する。容器本体及び内部部品は、ステンレス鋼です。	
	サブフレーム	溶断し、金属(SUS304)及びグラスウールに分別する。	グラスウールは燃える事がありますので、注意願います。処理はガラス陶磁器粉末として埋め立てが可能です。
	メインサブフレーム	溶断し、金属(軟鋼)及び発泡ウレタン並びに断熱木材に分別する。	発泡ウレタンは、一般廃棄物として燃焼させる(ただし、特殊焼却炉)か若しくは埋め立て処理が可能です。【注意】 断熱木材は、一般廃棄物として、燃焼させるか若しくは埋め立て処理が可能です。
1	安全弁	金属類と樹脂類(パッキン)に分別する。	
2	容器元弁	金属類と樹脂類(パッキン)に分別する。	
3	容器附属配管	金属類と樹脂類(パッキン)に分別する。	
4	差圧計	金属類とガラス、樹脂類に分別する。	
5	圧力計	金属類とガラスに分別する。	
6	ボール弁等 弁栓類	金属類と樹脂類(パッキン)に分別する。	
7	キャンドモータ ポンプ	金属類と樹脂類(パッキン)に分別する。	PTO直動式の車輛もあります。
8	制御盤等 電気機器類	金属類とプラスチック及び電線類に分別する。	電線重量は、約10kg。PTO直動式で、電気機器がない車輛もあります。
9	発電機	金属類と電線類に分別する。	電線重量は、約1kg。PTO直動式で、発電機がない車輛もあります。
10	増速機	金属類と樹脂類(パッキン)に分別する。	PTO直動式で、増速機がない車輛もあります。
11	ドライブシャフト	取り外し、材質別に分類する。	
12	リヤバンパ	樹脂製ランプ等は分別します。	
13	フェンダ	金属類、樹脂類、ゴム類に分別する。	
14	スペアタイヤキャリア	取り外す。	
15	その他装備品	取り外し、材質別に分類する。	
16	灯具類	金属類、樹脂類、ゴム類、電線類に分別する。	

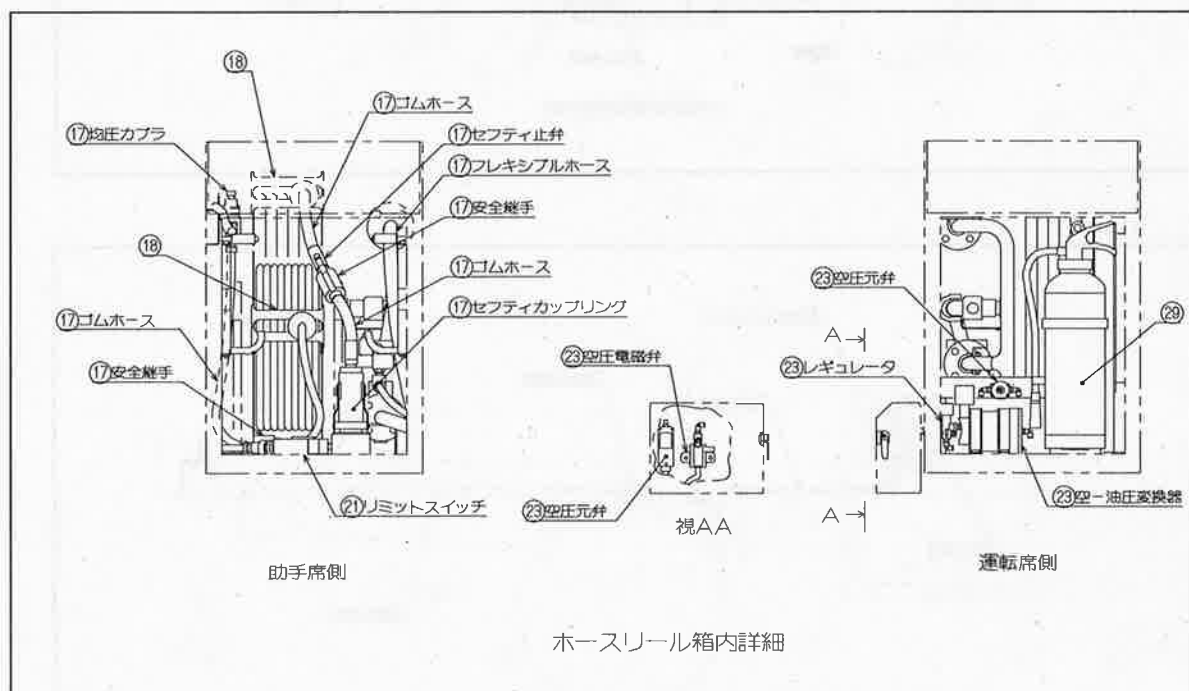
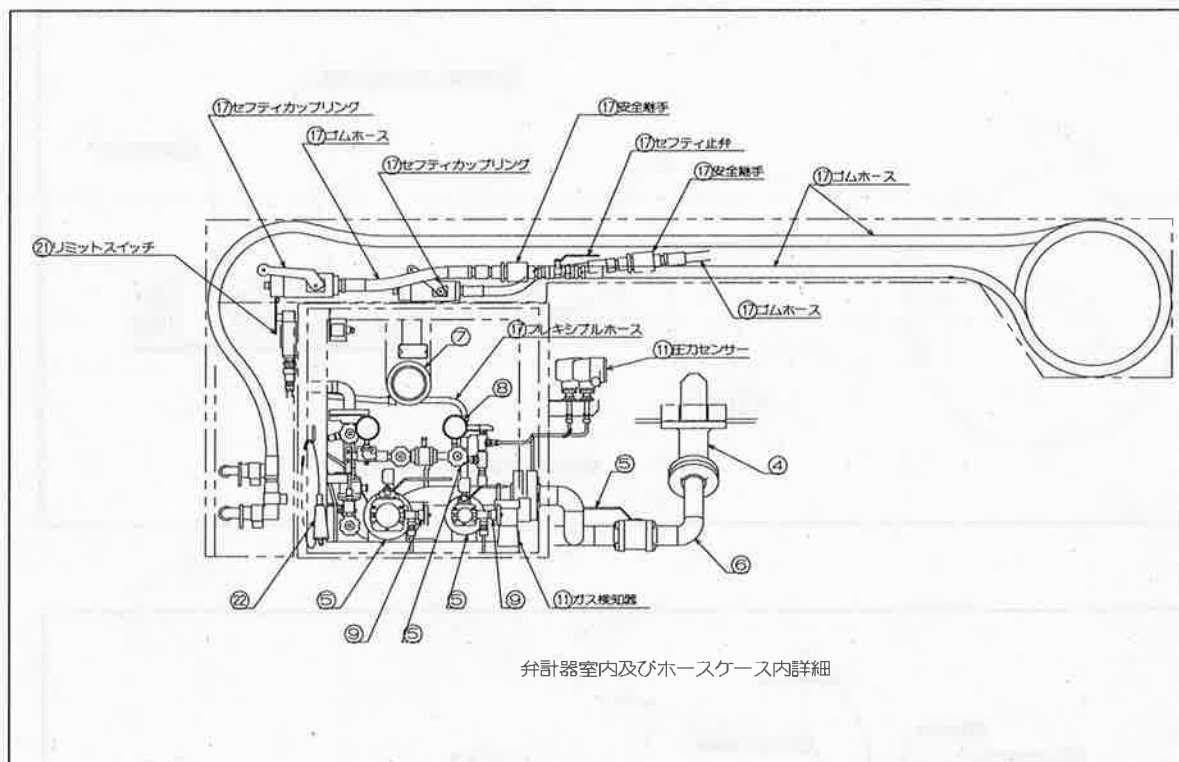
【注意】発泡ウレタンは“リサイクル可能”な樹脂です。

大量処理の場合には、最寄の「樹脂専門リサイクル業者」にご相談下さい。

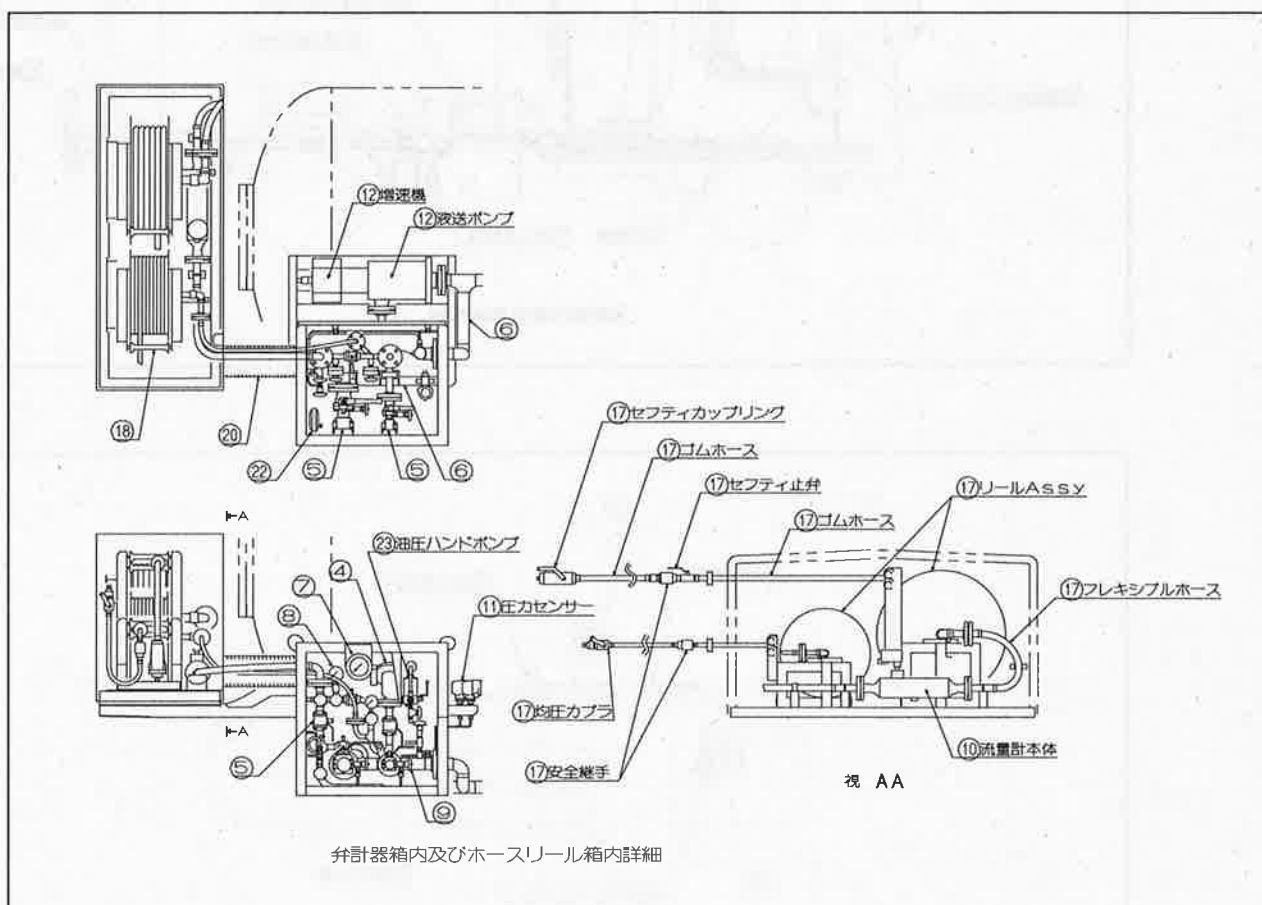
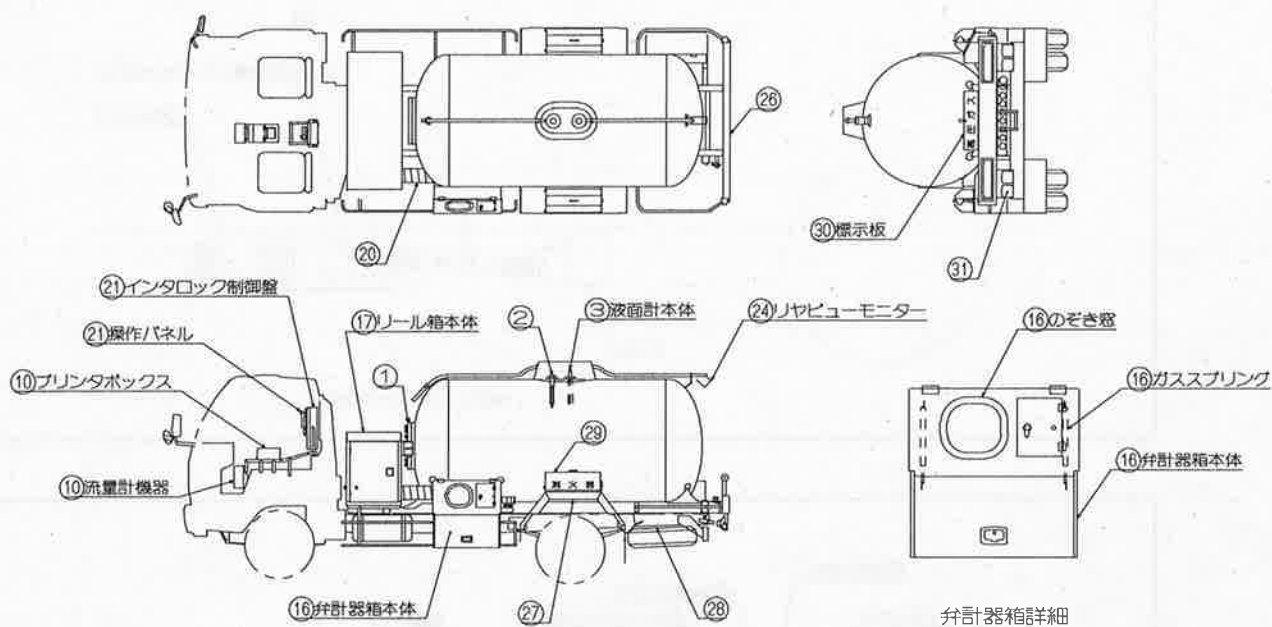


品目 番号	品目名	解体方法	注意事項
17	ホースリール関係		
	リール箱本体	金属類と非鉄金属類及びゴム類に分別する。	弁計器室と兼用の機種もあります。
	リールAssy	取り外し、材質別に分類する。	バネケース内には“ぜんまいバネ”が内蔵されております。飛び出す恐れがありますので、慎重に分解して下さい。
	ゴムホース	金属類(口金)とゴム類に分別する。	ゴムは基本的にリサイクル不可能です。
	フレキシブルホース	取り外す。	
	セフティカップリング	金属類と非鉄金属類及びゴム類に分別する。	
	均圧カプラ	金属類と非鉄金属類及びゴム類に分別する。	
	安全継手(液、ガス)	金属類と非鉄金属類及びゴム類に分別する。	
	セフティ止弁	金属類と樹脂類(パッキン)に分別する。	
18	ガイドローラ	金属類と樹脂類(ジュラコン)に分別する。	ジュラコン重量は約2kgです。
19	ホースケース	取り外し、材質別に分類する。	ホースケースを使用していない機種もあります。
20	ダクト	取り外す。(ゴム系/EPDM)	ダクトを使用していない機種もあります。
21	制御盤等電気機器		
	インタロック操作盤	金属類と樹脂類(制御、配線機器)及び電線類に分別する。	基本的には専門業者に委託して下さい。
	操作パネル	金属類と樹脂類(パネル、制御、配線機器)及び電線類に分別する。	基本的には専門業者に委託して下さい。
	追突検知器	金属類と樹脂類(端子台)分別する。	基本的には専門業者に委託して下さい。
	非常停止スイッチ	金属類と樹脂類(スイッチ)及びゴム類に分別する。	基本的には専門業者に委託して下さい。
	送信機(リモコン)	取り外す。(樹脂)	
	無線アンテナ	金属類と電線類に分別する。	
	リミットスイッチ	非鉄金属と樹脂類(ローラ)に分別する。	
	電線	取り外す。	電線の重量、約15~20kg。
22	アース線	金属類と電線類に分別する。	アース線の重量、約1kg。
23	油圧・空圧配管		
	油圧ハンドポンプ	内部の作動油をトレンプラグから抜き取り、金属類、ガラス、ゴム類(リング)に分別する。	作動油はオイルパン等で受ける。作動油は廃油として処理出来ます。ポンプ及び配管内の油量は、約0.7L。
	油圧止弁	非鉄金属と樹脂類(パッキン)に分別する。	
	油圧電磁弁	非鉄金属と電線類及びゴム類に分別する。	
	油圧配管	取り外す。(銅合金)	内部の作動油を作動油放出バルブから抜き取る。作動油はオイルパン等で受ける。作動油は廃油として処理出来ます。
	油圧ホース	金属類(口金)とゴム類に分別する。	ゴムは基本的にリサイクル不可能です。ゴムホースを使用していない機種もあります。
	空-油圧変換器	金属類と非鉄金属類及びゴム類に分別する。	
	レギュレータ	金属類と非鉄金属類及び樹脂類、ゴム類に分別する。	
	空圧弁栓類	金属類と非鉄金属類及び樹脂類、ゴム類に分別する。	使用していない機種もあります。
	空圧電磁弁	非鉄金属と電線類及びゴム類に分別する。	
	エアホース	取り外す。樹脂製品(ナイロン)です。	ナイロン重量は約300gです。
24	リヤビューモニター	取り外し、材質別に分類する。	
25	ポンプカバー	取り外し、材質別に分類する。	弁計器箱と兼用の機種もあります。
26	リヤバンパ	金属類及び樹脂類(ランプ等)に分別する。	
27	フェンダ	z	
28	スペアタイヤキャリア	取り外す。	
29	消火器	取り外す。	専門業者に委託して下さい。
30	その他外装品	取り外し、材質別に分類する。	
31	灯具類	金属類、樹脂類、ゴム類、電線類に分別する。	





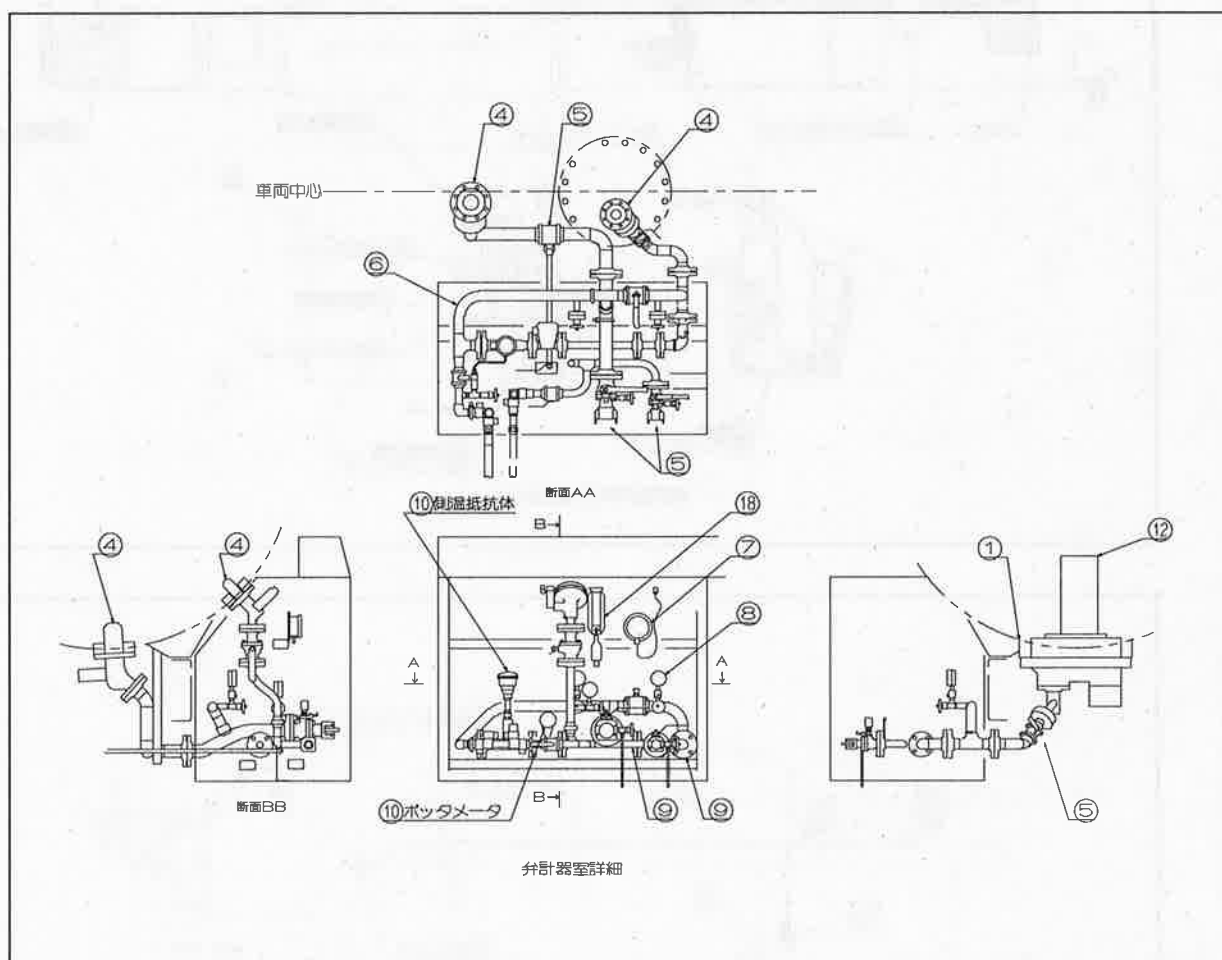
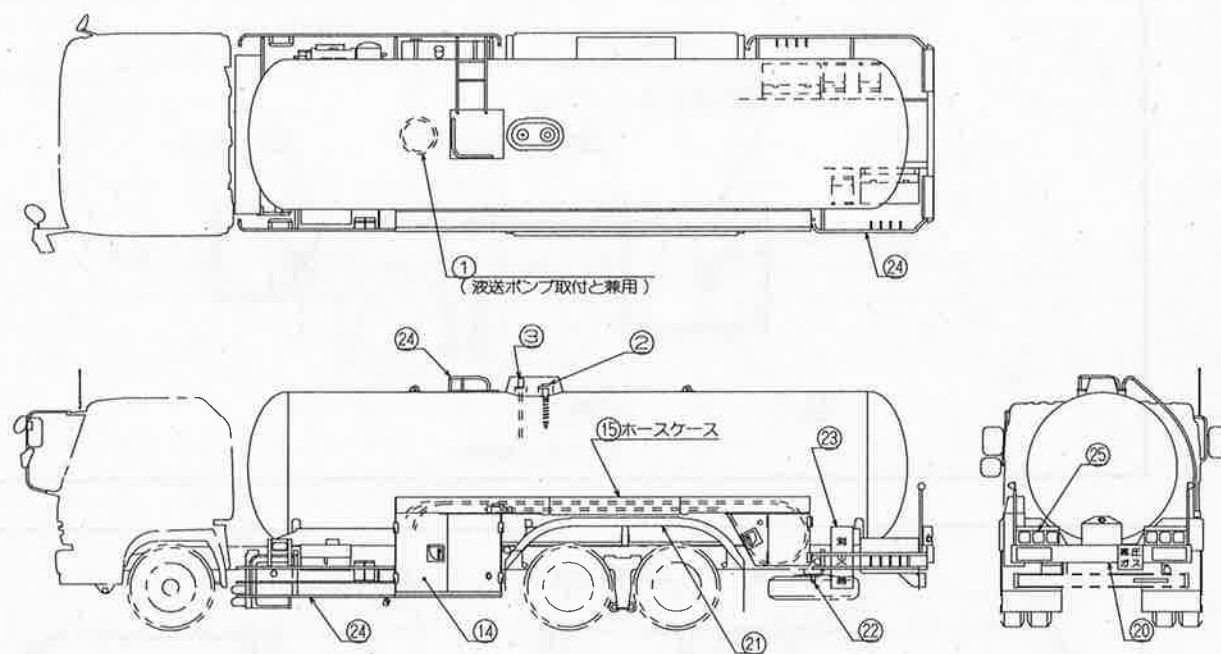
3) 標準民生バルクローリ【NB積載量H*】



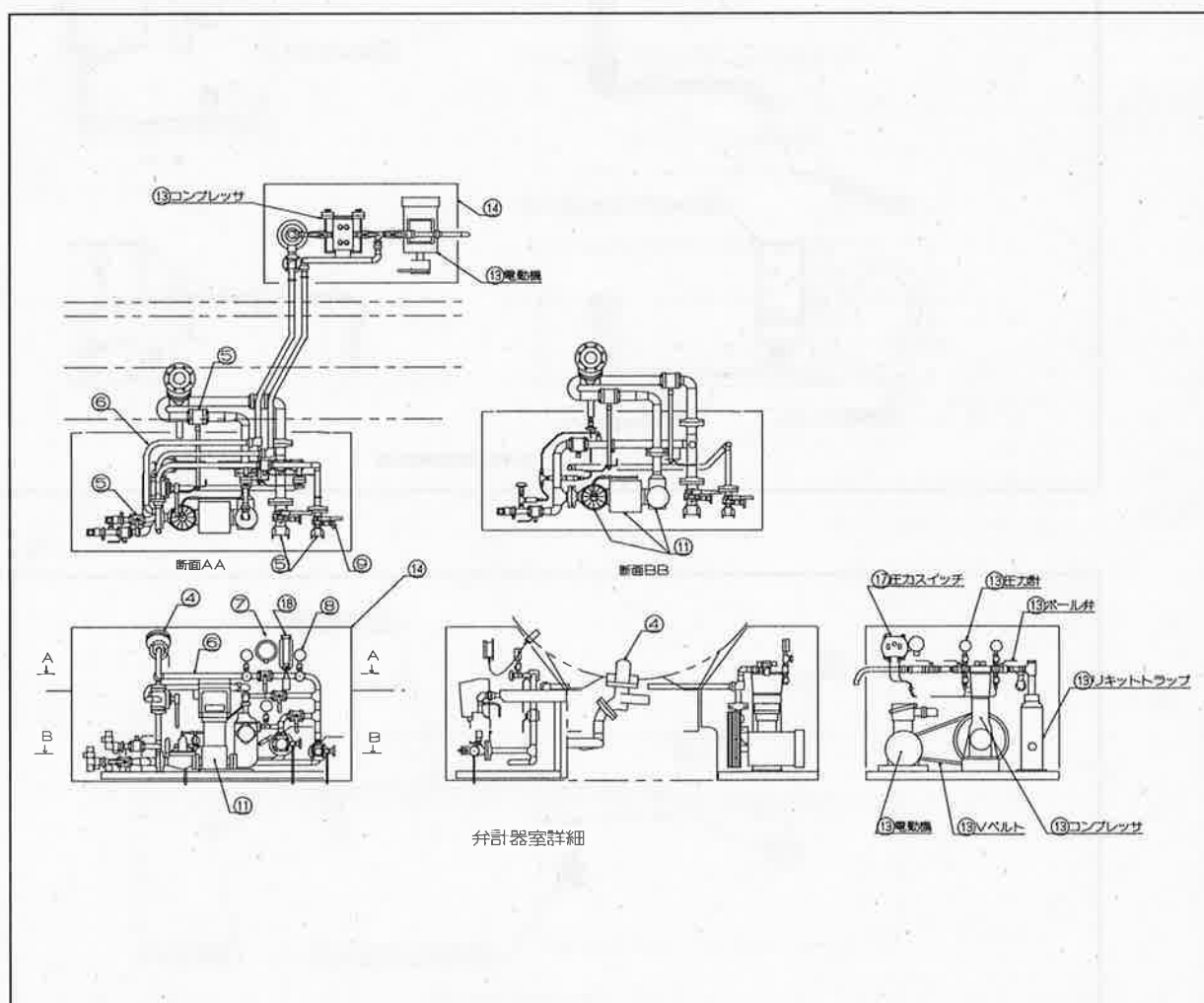
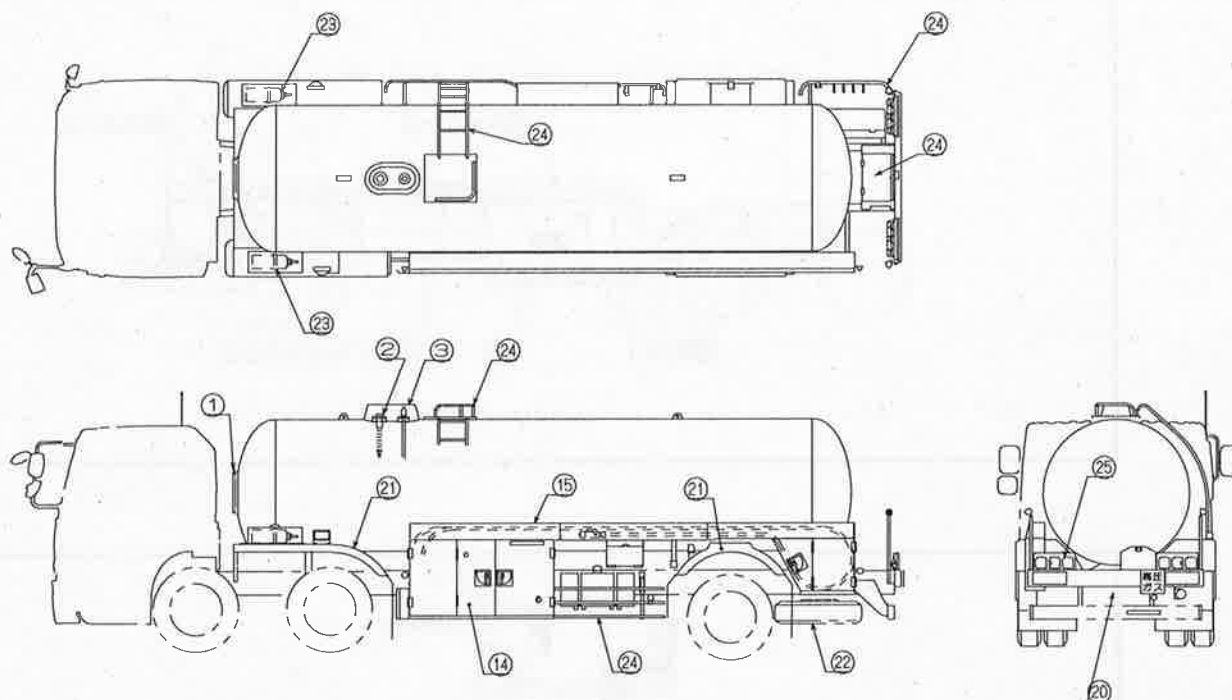
5. 工業用バルクローリ(液中ポンプ方式【NT-LP-PBP】及びガスコンプレッサ方式【NT-LP-PBC】)

品目 番号	品目名	解体方法	注意事項
	事前処理Ⅰ (ガス処理)	容器(タンク)内、附属配管内の残ガスは、専門業者により、窒素等の不活性ガスに置換、又は水による置換を実施し、ガス処理すること。	高圧ガスは、高圧ガス保安法によりその取り扱いが定められています。高圧ガスの処理は、高圧ガス保安協会認定の容器再検査事業者に依頼する事が望ましい。
	事前処理Ⅱ (除圧確認)	容器内の圧力が無いことを確認する。	
	容器の開放	主要な附属品(安全弁、バルブ、液面計、配管、マンホール)を取り外す。	
	容器(タンク)	シヤシと容器を固定するボルトを取外し、容器を切り離す。	
	容器本体	溶断、切断等により、裁断する。容器本体及び内部部品は、鉄及びステンレス鋼です。	火気を使用する場合は、引火に注意する。容器内に入る場合は酸欠に注意する。
1	マンホール	金属類とアスベストシート(ガスケット)に分別する。	液中ポンプ方式の場合は、ポンプ取り付け座が兼用です。
2	安全弁	金属類と樹脂類(パッキン)に分別する。	
3	液面計	金属類、非鉄金属類及び樹脂類(パッキン)に分別する。	
4	緊急遮断弁	金属類と樹脂類(パッキン)に分別する。	
5	元弁等の弁栓類	金属類と樹脂類(パッキン)に分別する。	
6	高圧ガス配管	金属類とアスベストシート(ガスケット)に分別する。	
7	温度計	金属類とガラスに分別する。	
8	圧力計	金属類とガラスに分別する。	
9	ブリーダ弁	非鉄金属類と樹脂類(パッキン)に分別する。	
10	液中ポンプ 流量計 機器	側温抵抗体	金属類と電線類に分別する。
		ポットメータ	非鉄金属と電線類に分別する。
		流量表示器 (プラスマカウンタ)	金属類と電線類に分別する。
		プリンタボックス	金属類と樹脂類(制御機器、カバー)及び電線類に分別する。
11	ガスコン 流量計 機器	流量計Assy	金属類と非鉄金属類及びガラスに分類する。 ガス(大気圧状態)残留の可能性があります。可燃性ガスですので、周囲は火気厳禁として分解して下さい。
12	液中ポンプ 方式	液中ポンプ (ノズルポンプ)	キャンモーター式のポンプです。金属類と非鉄金属類、ゴム(オリング)類及び電線類に分別する。 ガス(大気圧状態)残留の可能性があります。可燃性ガスですので、周囲は火気厳禁として分解して下さい。
13	ガス コン 方式	コンプレッサ	金属類と非鉄金属類、アスベストシート(ガスケット)類及び油脂類に分別する。 ガス(大気圧状態)残留の可能性があります。可燃性ガスですので、周囲は火気厳禁として分解して下さい。 クランク室には潤滑油が入っております。ドレン口(弁付)から排出します。油は廃油として処理出来ます。油量は、約2Lです。
		リキッドトラップ	金属類と非鉄金属類、アスベストシート(ガスケット)類に分別する。 ガス(大気圧状態)残留の可能性があります。可燃性ガスですので、周囲は火気厳禁として分解して下さい。
		電動機	金属類と樹脂類(制御、配線機器)及び電線類に分別する。 基本的には専門業者に委託して下さい。
		Vペルト	取り外す。
		ボール弁	非鉄金属類と樹脂類(パッキン)に分別する。
		圧力計	金属類とガラスに分別する。

1) 液中ポンプ方式【NT-LP-PBP】

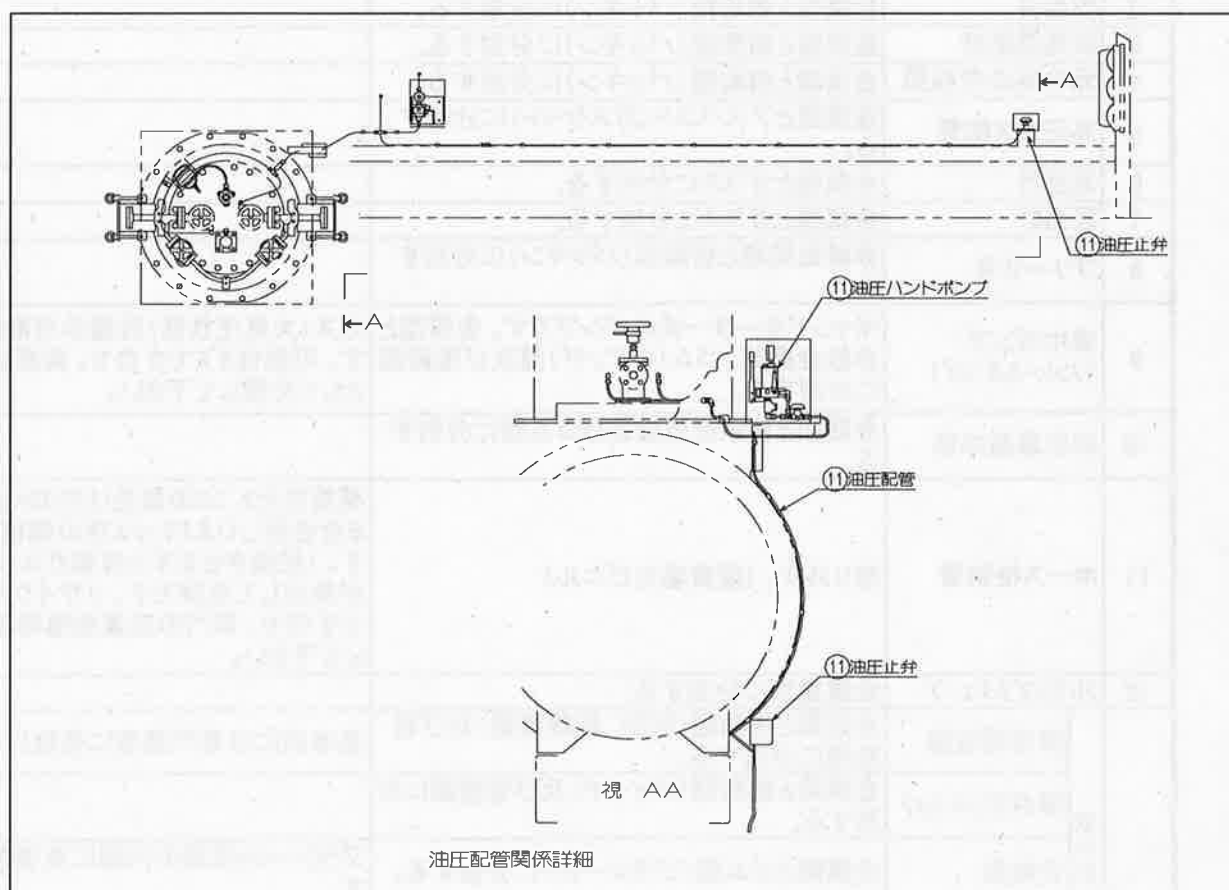
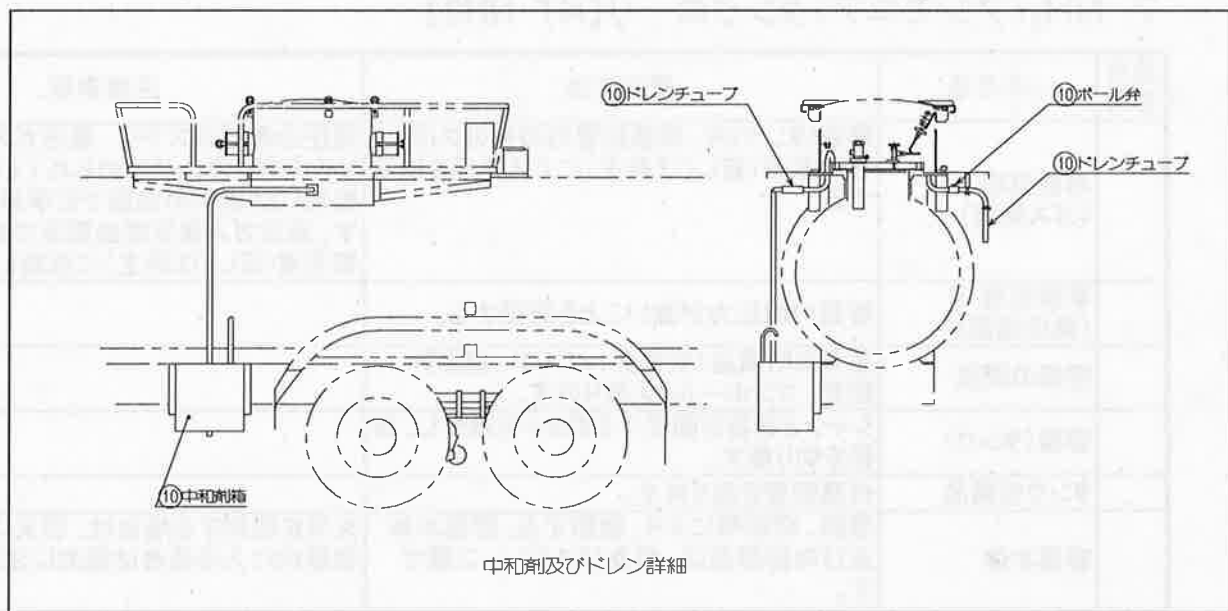


2) ガスコンプレッサ方式【NT-LP-PBC】

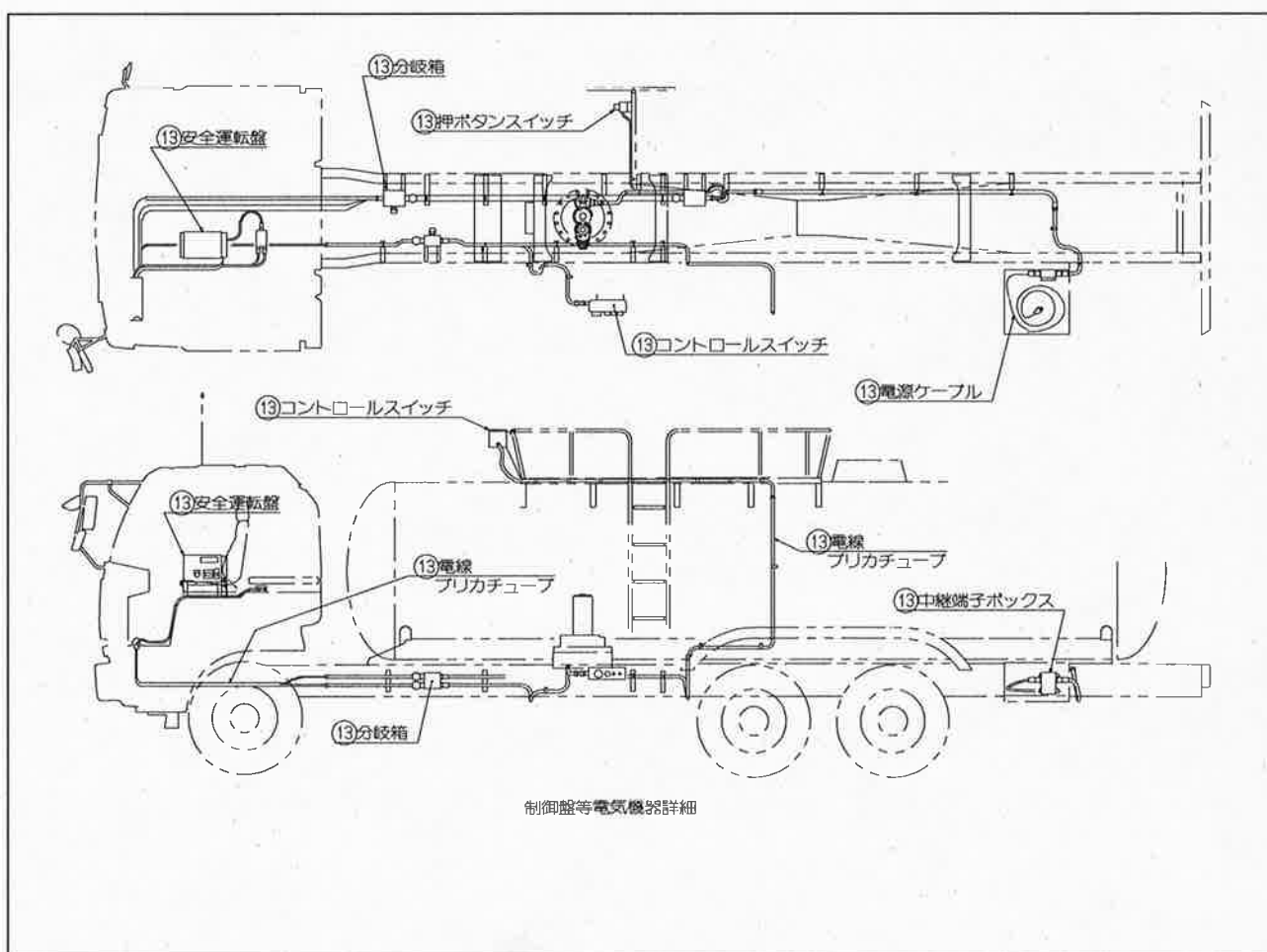
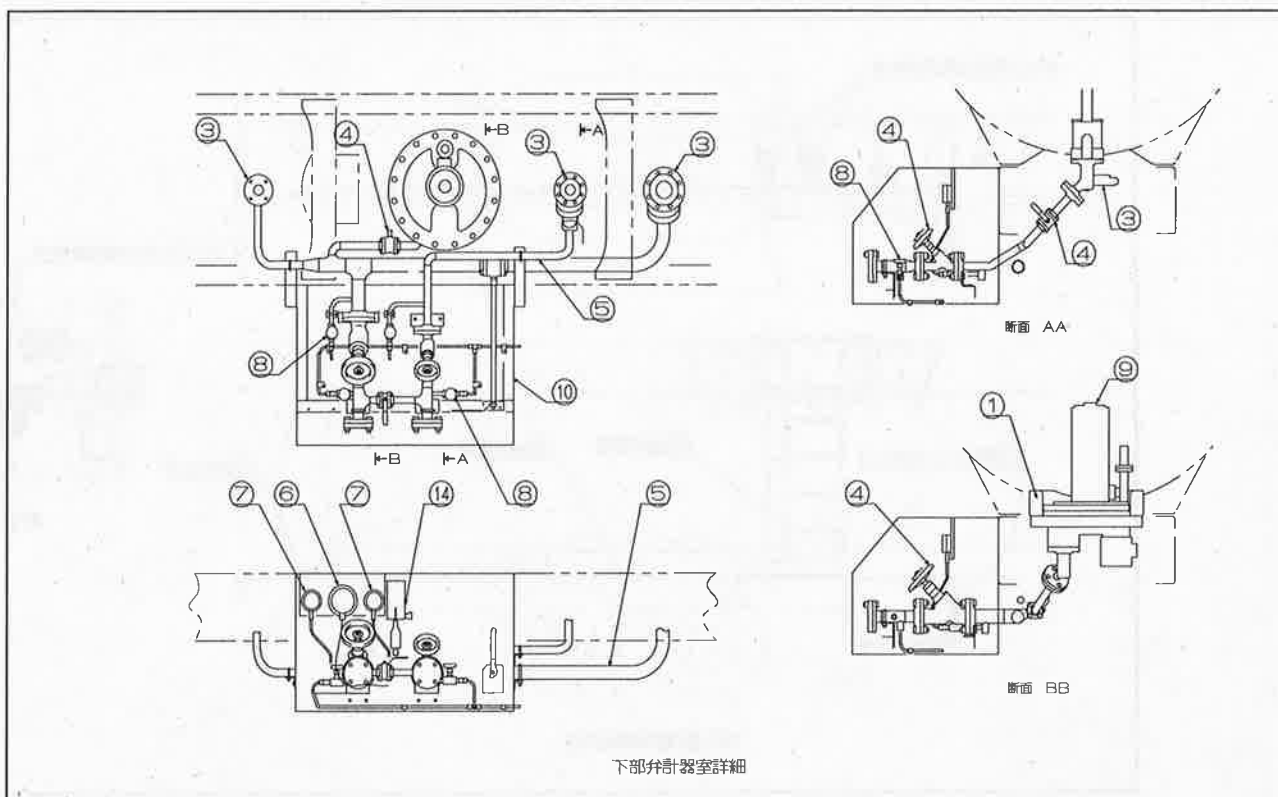


6. CL₂(塩素)タンクローリ【NT-CL2】

品目 番号	品目名	解体方法	注意事項
	事前処理Ⅰ (ガス処理)	容器(タンク)内、附属配管内の残ガスは、専門業者(若しくは荷主)にガス処理を依頼する。	高圧の毒性ガスです。高圧ガス保安法によりその取り扱いが定められています。中和処理には専門の知識で化学処理が必要です。高圧ガス保安協会認定の容器再検査事業者(若しくは荷主)に依頼して下さい。
	事前処理Ⅱ (除圧確認)	容器内の圧力が無いことを確認する。	
	タンクAssy	シャシとタンクを固定するボルトを外し、タンクを切り離す。	
	ケーシング	溶断、切断等により、裁断する。ケーシングは、アルミニウム合金です。	
	断熱材 (グラスウール)	内タンク表面からグラスウールを剥ぎ取ります。	グラスウールは燃える事がありますので、注意願います。処理はガラス陶磁器粉末として埋め立てが可能です。
	内層容器本体	溶断、切削等により、裁断する。容器本体及び内部部品は、炭素鋼です。	
1	マンホール蓋	金属類とアスベスト(パッキン)に分別する。	
2	マンホール被い	金属類と非鉄金属類に分別する。	
3	安全弁	金属類と非鉄金属類及び樹脂類(パッキン)に分別する。	
4	緊急遮断弁	金属類と非鉄金属類及び樹脂類(パッキン)に分別する。	
5	元弁等の弁栓類	非金属類と非鉄金属類及び樹脂類(パッキン)に分別する。	
6	高圧ガス配管	取り外す。	
7	液取り出し管	マンホール蓋から溶断分離する。	
8	圧力計	金属類とガラスに分別する。	
9	ブリーダ弁	金属類と非鉄金属類及び樹脂類(パッキン)に分別する。	
10	中和剤及ドレン装置 中和剤箱	取り外す。	苛性ソーダが約100L充填されております。アルカリ性液体のため、そのままでは下水処理出来ません。可燃性はありますが、直接手で触れると危険です。最寄の専門業者に処置を依頼下さい。
	ボール弁	非鉄金属類及び樹脂類(パッキン)に分別する。	
	ドレンチューブ	取り外す。樹脂製(軟質塩ビ)です。	軟質塩ビ重量は約1.5kgです。
11	油圧配管 油圧ハンドポンプ	内部の作動油をドレンプラグから抜き取り、金属類、ガラス、ゴム類(リング)に分別する。	作動油はオイルパン等で受ける。作動油は廃油として処理出来ます。ポンプ及び配管内の油量は、約0.7L。
	油圧止弁	非鉄金属と樹脂類(パッキン)に分別する。	
	油圧配管	取り外す。(銅合金)	内部の作動油を作動油放出バルブから抜き取る。作動油はオイルパン等で受ける。作動油は廃油として処理出来ます。
12	リヤバンパ	金属類及び樹脂類(ラング等)に分別する。	
13	フェンダAssy	樹脂類(FRP)、金属類、ゴム類に分別する。	FRP重量は約30kgです。重量は車種によって異なります。
14	スペアタイヤキャリア	取り外す。	
15	消火器	取り外す。	専門業者に委託して下さい。
16	塩素吸収剤 散布器(コロス)	取り外す。	専門業者に委託して下さい。
17	その他外装品	取り外し、材質別に分類する。	
18	灯具類	金属類、樹脂類、ゴム類、電線類に分別する。	



品目 番号	品目名	解体方法	注意事項
15	油圧 ハンドポンプ	内部の作動油をドレンプラグから抜き取り、金属類、ガラス、ゴム類(リング)に分別する。	作動油はオイルパン等で受ける。作動油は廃油として処理出来ます。 ポンプ及び配管内の油量は、約0.7L。
	油圧止弁	非鉄金属と樹脂類(パッキン)に分別する。	
	油圧配管	取り外す。(銅合金)	内部の作動油を作動油放出バルブから抜き取る。作動油はオイルパン等で受ける。作動油は廃油として処理出来ます。
16	リヤバンパ	金属類及び樹脂類(ランプ等)に分別する。	
17	フェンダAssy	樹脂類(FRP)、金属類、ゴム類に分別する。	FRP重量は約30kgです。重量は車種によって異なります。
18	スペアタイヤキャリア	取り外す。	
19	消火器	取り外す。	専門業者に委託して下さい。
20	その他外装品	取り外し、材質別に分類する。	
21	灯具類	金属類、樹脂類、ゴム類、電線類に分別する。	



8. EO(酸化エチレン)タンクローリ【NT-EO】

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
	事前処理Ⅰ (ガス処理)	容器(タンク)内、附属配管内の残ガスは、専門業者(若しくは荷主)にガス処理を依頼する。	高圧の毒性ガスです。高圧ガス保安法によりその取り扱いが定められています。中和処理には専門の知識で化学処理が必要です。高圧ガス保安協会認定の容器再検査事業者(若しくは荷主)に依頼して下さい。
	事前処理Ⅱ (除圧確認)	容器内の圧力が無いことを確認する。	
	タンクAssy	シャシとタンクを固定するボルトを外し、タンクを切り離す。	
	ケーシング	溶断、切断等により、裁断する。ケーシングは、アルミニウム合金です。	
	断熱材 (グラスウール)	内タンク表面からグラスウールを剥ぎ取ります。	グラスウールは燃える事がありますので、注意願います。処理はガラス陶磁器粉末として埋め立てが可能です。
	内層容器本体	溶断、切削等により、裁断する。容器本体及び内部部品は、ステンレス鋼です。	
	サブフレーム	溶断し、金属(SUS304)及びグラスウールに分別する。	グラスウールは燃える事がありますので、注意願います。処理はガラス陶磁器粉末として埋め立てが可能です。
1	ドームフタ (マンホールハッチ兼用)	金属類と樹脂類(パッキン)に分別する。	
2	弁装置室	金属類と非鉄金属類(アルミニウム合金)及びグラスウールに分別する。	
3	安全弁	金属類と樹脂類(パッキン)に分別する。	
4	緊急遮断弁	金属類と樹脂類(パッキン)に分別する。	
5	元弁等の弁栓類	金属類と樹脂類(パッキン)に分別する。	
6	高圧ガス配管	取り外す。	
7	液取り出し管	ドームフタから溶断分離する。	
8	温度計	金属類とガラス、樹脂類に分別する。	
9	温度計保護管	ドームフタから溶断分離する。	内部には不凍液(エチレングリコール:消防法適応)が約0.3L封入されております。溶断前にドームフタを逆転させて保護管の中の液を抜き取って下さい。液はウエスに吸着させて焼却処分します。
10	圧力計	金属類とガラスに分別する。	
11	ブリーダ弁	金属類と樹脂類(パッキン)に分別する。	
12	ドレン装置 配管	取り外す。	
	保温カバー	取り外す。樹脂製(発泡ポリエチレン)です。	発泡ポリエチレン重量は約1kgです。産業廃棄物として専門業者に依頼して下さい。
13	アース線	金属類と電線類に分別する。	アース線の重量、約1kg。
14	油圧 ハンドポンプ	内部の作動油をドレンプラグから抜き取り、金属類、ガラス、ゴム類(リング)に分別する。	作動油はオイルパン等で受ける。作動油は廃油として処理出来ます。ポンプ及び配管内の油量は、約0.7L。
	油圧止弁	非鉄金属と樹脂類(パッキン)に分別する。	
	油圧配管	取り外す。(銅合金)	内部の作動油を作動油放出バルブから抜き取る。作動油はオイルパン等で受ける。作動油は廃油として処理出来ます。
15	リヤバンパ	金属類及び樹脂類(ランプ等)に分別する。	
16	フェンダAssy	樹脂類(FRP)、金属類、ゴム類に分別する。	FRP重量は約30kgです。重量は車種により異なります。
17	スペアタイヤキャリア	取り外す。	
18	消火器	取り外す。	専門業者に委託して下さい。
19	その他外装品	取り外し、材質別に分類する。	
20	灯具類	金属類、樹脂類、ゴム類、電線類に分別する。	

